

区長と話そう、聞いてみよう **すぎなミーティング**

テーマ「**区立施設再編を考える**」 ～**快適で安全な施設サービスを目指して**～

平成30年3月17日(土)

区では、区政に関して、日頃発言する機会の少ない区民の方々の声を、幅広く受け止めていく取組として「区長と話そう、聞いてみよう、すぎなミーティング」を実施しています。今回は、「区立施設再編を考える」～快適で安全な施設サービスを目指して～について話し合いました。

◇区長から一言 施設の再編は、みなさんとの共通の理解が必要な分野！

今日は、これからの区立施設のあり方について、皆様と意見を交換したいと思いお集まりいただきました。懇談会にあたって「施設再編」の総論的なことをお伝えしたいと思います。



今、区には約 600 の施設がありますが、多くは昭和 30 年から 40 年頃に建設されたものです。

コンクリートの耐用年数が 50 年とされていますから、順次、建て替え又は大規模な修繕が必要となります。すべてを建て替えでとなると莫大な費用がかかります。かといって、修繕による長寿命化を図ればよいかというと、大改修には建て替えの半分程度の費用が改修の度にかかり、建物の長寿命化も一概に安価で済むとは言えないのです。

そこで、建て替えか改修かは、周囲の環境とか施設

の用途など様々のことを考慮して、何が最も良い方法かを見極めて決定していかなければなりません。それが「施設再編」の大きな目的です。



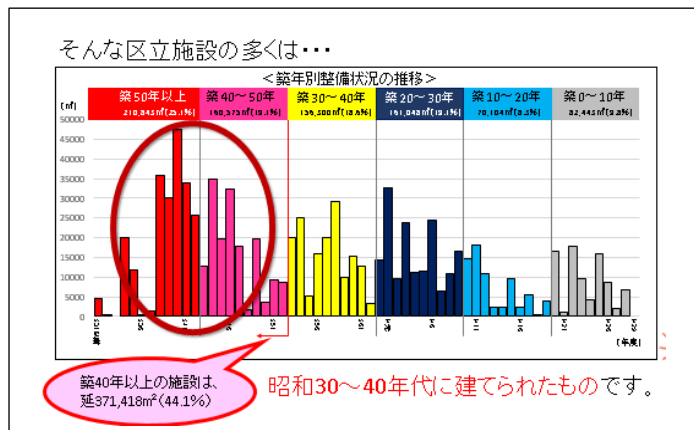
また、施設の再編には、その時代の人口や政策が大きく影響します。平成に入った頃は、都心が空洞化してきて人口も減少していました。今、東京への一極集中から区の人口は増加してきています。以前なら少子化で子どもの数は減っていくのだから、認可保育園は作らないという方針でした。しかし、今、子育て支援の必要性が高まり、認可保育園の建設に力を入れなければならない時代になってきています。

目まぐるしく変わる行政需要をしっかりと見据えて「施設再編」を考えないといけないといういい例ですね。

このように施設をめぐる議論は様々あって、数学みたいに回答が出るものではありません。だからこそ、私は区の考え方を示したうえで、区民の皆さんと認識を共通にしていかなければならないと考えています。これが今日、皆さんにお集まりいただいた理由です。

◇区立施設をとりまく状況は？ 単純な建て替えは区の財政を圧迫します。

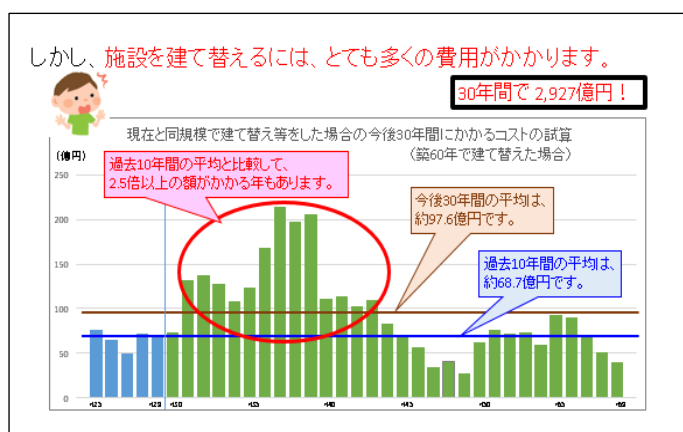
●全体の44パーセントが建て替え対象



首都直下地震の発生も予想される中で、安全・安心な施設サービスを提供するには、しっかり施設の老朽化に対応していかなければなりません。

区立施設は、その多くが高度経済成長期の昭和 30 年代から 40 年代に建設され、現在、建て替え等の検討対象となる築 40 年以上の建物は、全体の約 44 パーセントにも上ります。

●少子高齢化社会の進展により、改築等にかかることができる予算は限られてきます。



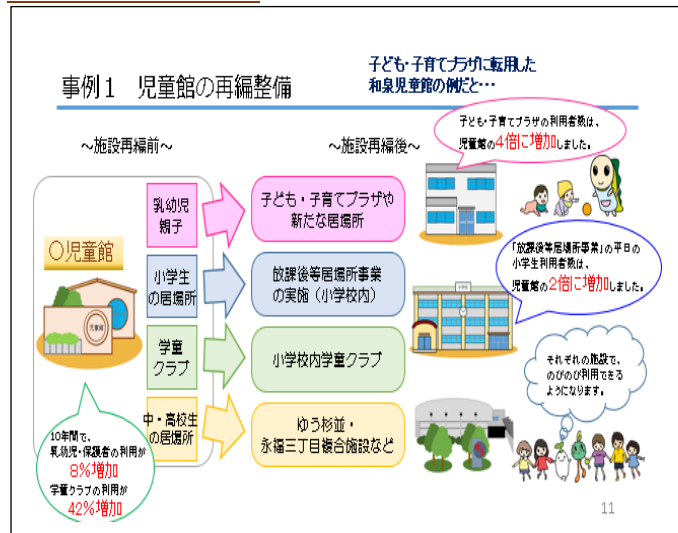
今の施設を築 60 年で改築していくと、今後 30 年間にかかる費用は 2, 927 億円にもなります。

特に、平成 30 年代から 40 年代前半には学校の改築が集中し、この間は、これまでの 10 年間の約 2. 5 倍の改築等の費用がかかります。しかも、少子高齢化の進展で、医療や介護など社会保障費の増加が予想されるのに、生産年齢人口は減少しますから、出ていくお金に見合う収入の確保が難しくなります。建物の改修・改築は今以上に厳しい状況になります。

◇「施設再編」、新しい考えで工夫を凝らした代表的な例を紹介

担当課長から代表的な例の紹介がありました。

●事例 1 児童館の機能を再編し、より充実した育成環境を作り出す事例

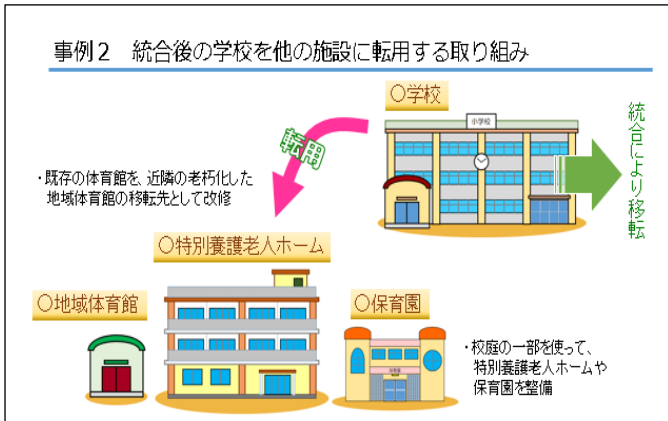


児童館では、近年、乳幼児親子の利用と小学生の学童クラブの利用が大幅に伸びる一方で、中・高校生の利用は減少傾向にあります。年齢に応じたニーズを捉え児童館を再編していくことが必要です。

区としては児童館という施設にとらわれることなく現在の児童館が果たす役割を見据え、それぞれ、より充実した育成環境を確保していきます。

- ①乳幼児親子には、「子ども・子育てプラザ」などの新たな居場所を設けます。
- ②小学生には、基本的に学童クラブや放課後等の居場所事業を小学校内で行います。
- ③中・高校生には「ゆう杉並」のほか、今後、整備する(仮称)永福三丁目複合施設などに新たな居場所を確保していきます。

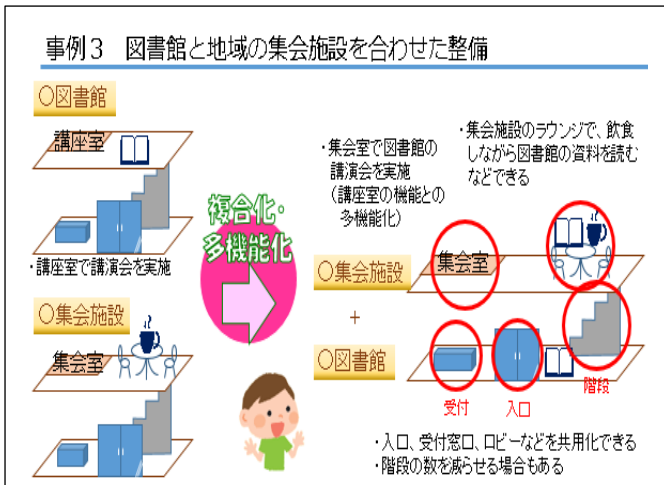
●事例 2 統廃合した学校施設の跡地を有効活用する事例



統廃合した後の学校跡地の活用で、旧永福南小学校跡地を、保育園や特別養護老人ホーム、地域体育館に転用する例があります。

このように大規模な用地が必要な施設には、学校施設の跡地を活用するなどしてニーズにこたえていきます。

●事例 3 図書館と集会施設を複合化する事例



図書館と集会施設を複合化することで、サービスの向上や施設の有効活用を図っています。

- ①図書館の講座を集会所で行ったり、図書館の本を集会所に持ち込んで読むことも可能になります。また地域の仲間での打ち合わせ等、多様な利用ができます。
- ②入口や受付窓口、ロビーを共用することで効率的な施設の整備ができます。

◇これまでの説明から、施設再編についての疑問点を整理してみよう。

- 利用しやすさ、魅力ある施設にすることが大事では？
- わかりにくいところに施設があって、利用されているのかな？
- 施設の再編の時に、それぞれの地域の特性を考慮しては？
- 世代を超えて納得できる施設の再編はできるのだろうか？



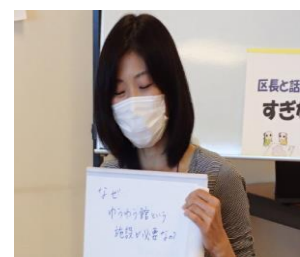
総合的な施設を
どんどん増やす
ことが必要

再編を機に施設の
魅力を高めるには



- みんなが施設から恩恵を受けることができるようにしないと。
- 利用しやすいように施設のアクセスも考えないとね
- 小学校に学童クラブを併設するなど、小学校の有効利用は？
- 施設の再編が進んでこなかった理由を考えてみることも大事だよ

◇私が施設再編に関して、考えること、話してみたいこと



Aさん 施設の建て替えについては、その地域に必要なものは何かということ、よく考えてから施設を再編していくことが必要だと思います。

Bさん ゆうゆう館など、わかりにくい場所に設置されていることが多いように思います。設置の考え方はどうだったのでしょうか？

Cさん 私は子育て中で、頻りに児童館、図書館、学校を利用します。「魅力のある施設」は少し遠くても人が集ってきます。経費の抑制も大切ですが、「施設の魅力」が再編に大事な観点だと思います。

Dさん 区民全員が、平等に施設サービスを受けられることが必要ですね。みんなが利用できる施設であれば、再編を自分のこととして考え、いい案が出ると思います。

あと、小学校には学童クラブを併設することが施設の有効利用につながると思います。

Eさん 生まれも育ちも杉並です。施設の立て直しにはお金がかかるのは理解できます。ただ、施設再編は、うまく知恵を出せば、良い施設を作る機会ととらえることができます。ただ、保育園の建設が近隣の反対にあうというニュースを聞きくと、施設の再編は難しい問題が多いと思います。

Fさん これから高齢者の割合が増えると思うのですが、やはり、子育て世代の方たちも来る区になってほしい。そういう観点で施設を再編してほしい。

Gさん まず「図書館を魅力的にして欲しい」。また、地域特性を活かした施設再編が必要だと思います。ただ、施設の配置は平等である必要もあって、それが再編の難しいところかなと思います。

Hさん 「なぜ、区立施設を日常的に利用したいのにできないのだろう」ということを疑問に思いました。一口に区民施設といっても、使用回数には格段の差があります。区民事務所には数年に1度しか行かないけれど、図書館、体育館には頻繁に行きたい。

機能豊かな複合施設を作れば効率がいいのではありませんか。また、ミニバスを回遊させ施設へのアクセスを確保するのはどうだろうか。



◇話し合いのテーマは「なぜ、区立施設を日常的に利用したいのにできないのだろう」

皆さんの発表の後、懇談を充実させるために、話し合いのテーマを一つ選ぶことにしました。みなさんが選んだテーマは「なぜ、区立施設を日常的に利用したいのにできないのだろう」です。

このことがテーマに選ばれた理由には、次のような参加者の思いがありました。

まず、(1) 利用しやすい施設であるために配置の基準や交通アクセスについての考え方はどうなっているか次に、(2) 現状と比べて、もっと効率の良い施設を考えれば、いい提案ができるのではないかと

◇地域ごとの施設配置とか交通アクセスはどのように考えますか？

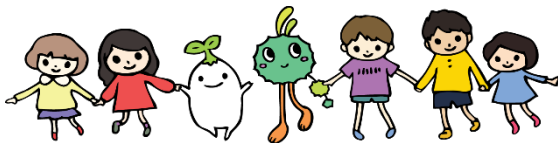
◇施設の地域でのバランスはどうだったのか？

●区民 今、施設再編が議論されるようになった背景として、もともと施設が不足している地域とか地域にアンバランスがあったのでしょうか。



○区長 まず、施設が不足している地域があるかという疑問ですが、地域に格差が出ないように施設を配置しています。

具体的には区内を7つのブロックに分けて、各ブロックに必ず図書館や区民事務所、区民センターを作っています。施設配置に地域格差があり、それが施設再編の背景となったということはないと思います。



◇各施設の交通アクセスは？

●区民 施設を有効に活用するには、交通アクセスが大事だと思いますが、施設再編にあたって交通アクセスを考慮していますか？

○区長 もちろんです。

図書館や区民センターなど、区内7ブロックに分けて配置した施設は、地域の人が使用するもので、歩いて行くことができるというのが一つの目安ですね。現状でもアクセスは確保されていると思います。

これに対して、杉並公会堂や産業振興センターなど、区内全域から、区民が来ることを予



定している施設は、駅前に配置するとか、交通アクセスを重視しなければならないと考えています。用地の確保についても、その点は積極的に考えています。

◇施設再編を機に、みんながよいサービスを受けられるようになれば・・・

◇区民全員が使う施設は駅前がいい

●区民 公会堂とか区内全域から人がやってくる施設は駅前にあった方がいいし、私は税務署も駅の近くにあった方がいいと思っています。

●区民 税務署も駅前に移転してくると聞いたのですが・・・



◇よりよいサービスを提供するためにチャレンジしています。

○区長 税務署の駅前移転に関しては、荻窪税務

署とそれに隣接する国家公務員宿舎の国有地（6千3百㎡）を「あんさんぶる荻窪」と交換することで実現しました。

国としては税務署へのアクセスが良くなる。区としても、大規模用地を確保して福祉サービスを充実させるという、お互いのメリットがあります。

確かに「あんさんぶる荻窪」は駅に近く便利なのですが、福祉系の施設に求められるこれからの機能を果たしていくためには、少し駅から離れても、大規模な用地を確保することが必要だったのです。

実際に、特別養護老人ホームは3千から4千㎡ないという施設は作れません。また、福祉の相談一つとってもプライベートなことも多く、個室スペースを確保しないとよいサービスはできないと思います。

交換で得た土地には「ウェルファーム杉並」と言っ、福祉事務所や在宅医療の拠点、それから「子ども・子育てプラザ」などが入った施設がこの春にオープンします。

今後はその隣に特別養護老人ホームができる予定で名実ともに福祉の拠点となっていきます。



◇小学校を核にして、多機能の複合施設を作っていけばどうだろう？

●区民 小学校を利用して、もっと大胆に施設の複合化を図ればいいと思うのですが・・・



●区民
杉並区の小学校は非常にバランスよく配置されていると思います。小学校を複合施設にしてい

けば、効率よく施設再編できるのではないのでしょうか。

例えば、学校は図書館もプールもグラウンドもある。図書館だって土日は地域の人が使ってもいいし、体育館やプールも同じことが言えますね。

また統廃合した時に備えて、校舎の部屋の仕切りなども変更できるものにしておけば、速やかに図書館や老人ホームに使用することもできるのではないのでしょうか。

◇小学校の複合施設化はセキュリティも大きな問題点ですね。

◇セキュリティの確保は？

●区民 小学校を複合施設化した場合、セキュリティ面はどうでしょう。知らない人が自由に小学校に入ってくることになる、学校としては不安になると思うのですが。

●区民 私もそう思います。今の時代、セキュリティを考えると小学校の複合施設化は少し不安です。

◇地域の目が、一番の安全策では？

●区民 私は、少し違った意見です。地域の目で安全を確保したらどうでしょう。

他の区ですが、商店街の中に小学校の正門があり開放されています。その地域では、商店街を含め周りの人が見守ってくれるから安心ということでした。私は高円寺に住んでいますが、商店街の人たちが小学生を見守る。そういう風になれば、映画「三丁目の夕

日」に出てくる街みたいで素敵だと思うのですが。

◇ハード面の工夫で安全を確保すれば

●区民 セキュリティは、入口を別にするとか技術的なことでカバーしていくことがいいと思います。小学校の複合化は立地としても魅力的ですから。

●区民 区長はどう思いますか？

◇学校のセキュリティ確保は最も大事

○区長 今の時代、セキュリティは大きな課題です。学校は安全でなければならない施設です。

誰でも入ってこられるという開放型でセキュリティを確保しようとする、と相当な警備態勢を敷くことが必要になります。かといって、過剰な警備もナンセンスですね。設計の段階で入口を変えとか、ハード面での工夫も取り入れながら、みんなで考えていかなければならない問題だと思います。

◇小学校は教育の場、複合施設化を図る場合も教育環境の優先が原則

●区民 セキュリティの確保以外に複合化が進まない理由はありますか？何かハードルがあるのですか。

◇学校は教育のための施設で、教育環境が最優先

○区長 まず、ハードルというか学校という施設の性質からくる制約があります。

学校は地域に親しみのある施設で、しかも配置のバランスもよい。そこにいろいろな機能を入れたら便利なのは、私もよく理解できます。

しかし、学校は子どもの教育環境を最優先に考えるべき施設なのです。そこで、複合化にあたっては教育に支障のない範囲という条件が付きます。どのような施設でも複合化できるわけではないのです。



◇小学校と学童クラブとの併設について

●区民 では、小学校と学童クラブの併設はどうでしょうか？

セキュリティ、教育環境も問題はないと思うのですが、いかがですか？



○区長 その疑問はもっともだと思います。今回の施設再編整備の方向性として、学童クラブや放課後の遊び場を学校に併設することを進めています。その理由

平成 29 年度第 4 回 すぎなミーティング報告書は学校が終わったあとも、そのまま友達と一緒に活動できるし、安全面からいっても合理的だからです。

では、なぜこれまで学校と学童クラブが併設されていなかったか。縦割り行政と言ってしまうとそれまでですが、児童福祉を充実させるため、独自に児童の居場所を確保していこうという区の判断があったことも影響していると思います。



◇いろいろな意見をありがとうございました。

皆さん、選んだテーマをもとに熱心に議論していただきました。小学校を核にした思い切った複合施設の案が出ました。施設の性格から一定の制約はあるものの、誰もがもっと効率よく、施設サービスを受けられるようにという参加者の強い思いが伝わってきました。

◇きょうの懇談会を振り返って



- 高齢社会といわれる時代だから、この懇談会も高齢者の意見が強いのではと思っていました。しかし、年齢によらず子育てしやすい街が必要という意見の人もいて、いろいろな意見を聞いてよかったです。
- 区政の問題について、声を上げないのは考えていないのではなくて、なかなか声を上げる機会がないことをもどかしく思っています。今日は区長をはじめ、みんなと直接、話ができよかったです。
- 独身の時に杉並に住んでいて、今また子育てで杉並に戻ってきてから、この地域の良さを感じています。いい施設もあるし、もっといろいろな人が来てくれる杉並区になってほしいと思います。
- 杉並は、高齢化に歯止めをかけることのできる街になってほしい。若い人がいるからこそ希望も湧いてくる。だから子育てを応援することも必要だし、年をとっても若い人に支えられて希望をもって健康に生きられる。そういう願いを叶えることのできる施設再編になればと思います。
- 施設再編で、皆さんの地域での交流の場ができ、それが区全域に広がると、いい地域ができるのではないかと思います。こういう懇談会が、もっと増えてくるといいと思います。





今回の懇談会は 20 歳以上、80 歳代の無作為抽出の区民 1000 名に通知し、8 名の方に参加いただきました。

編集後記 区政相談課

初対面の方同士、緊張することもあったと思いますが、活発にご発言いただきありがとうございました。この報告書は出席者の方の意見と区長からの回答を抜粋して編集させていただきました。

～区政を話し合う会報告書～平成30年7月 編集・発行 杉並区総務部区政相談課
〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号
電話3312-2111